

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	18185
課題名	非小細胞肺癌における BRAF_V600E 遺伝子変異の発現頻度と臨床的特徴の検討
研究期間	倫理委員会承認後～2024 年 3 月 31 日
研究の対象	当院で 2013 年 1 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日までに気管支鏡検査をうけ非小細胞肺癌と診断された方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果、画像診断結果、その他の遺伝子変異解析情報）</p> <p>■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：肺 気管支鏡検査の病理診断で余った検体）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
研究の意義、目的	<p>肺癌に対する新しい治療薬の開発により、劇的な腫瘍縮小効果をもたらしています。そのうち EGFR 遺伝子変異、ALK 融合遺伝子、ROS1 融合遺伝子については保険診療内で診断してきました。あらたに同定された BRAF 遺伝子変異に対しても有効な薬剤が開発されましたが、肺癌の 1 %程度の希少疾患であるために、どのような患者さんがこの遺伝子異常を持っているかわかっていません。</p> <p>当院では、当院で肺癌と診断された患者さんの気管支擦過ブラシ洗浄液を遺伝子変異検査をするために病理診断後に遺伝子変異検査をできるように保存しています。この試料を用いて、BRAF 陽性患者さんを検査し、例えば年齢や性別などこういった患者さんが BRAF 遺伝子異常を持っているか調べます。</p>
研究の方法	当院で保存している気管支鏡検査の余った試料からがん由来の DNA を取り出し、BRAF の遺伝子変異があるか調べます。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

	<p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>旭川医科大学病院 呼吸器センター</p> <p>旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 － 1</p> <p>TEL 0166-69-3290 FAX 0166-69-3299</p> <p>佐々木 高明</p> <p>研究責任者：</p> <p>旭川医科大学病院 呼吸器センター</p> <p>旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 － 1</p> <p>佐々木 高明</p>
--	---